

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 006	提案機関名 農業振興課
要望問題名 大型直売センターの余剰農産物の加工技術の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 全県展開されている大型直売センターでは、全体的に県産農産物が不足する傾向にある一方、季節や地域によって余剰となる農産物がある。 余剰農産物の有効利用方法として、食堂等での利用や粉末・ジュース化による菓子類等加工品への利用など、その利用技術について検討をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	経営情報研究部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 余剰農産物の有効利用方法については、既存の加工技術で対応可能と思われます。現地対応として、普及指導員による指導を要請してください。また、加工方法等の技術確認や製品開発については、農業技術センター農産加工開放実験室の利用が可能ですので、個別事案毎にご相談ください。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			